



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月24日

上場会社名 鉦研工業株式会社
 コード番号 6297 URL <http://www.koken-boring.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末永 幸紘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部長 (氏名) 三輪 美之

TEL 03-6907-7888

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,606	△13.3	△70	—	△72	—	△72	—
29年3月期第1四半期	1,852	14.8	75	△44.5	70	△48.2	48	△62.5

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △69百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 50百万円 (△60.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△8.04	—
29年3月期第1四半期	5.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,399	3,410	46.0
29年3月期	7,475	3,569	47.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,404百万円 29年3月期 3,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,640	5.4	160	163.4	160	103.1	140	101.9	15.61
通期	8,800	29.5	620	233.8	620	213.9	455	52.6	50.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	8,970,111 株	29年3月期	8,970,111 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	3,481 株	29年3月期	3,481 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	8,966,630 株	29年3月期1Q	8,966,715 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善が続くなかで各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続いている一方、中国や新興国経済の鈍化懸念、欧米の政治リスクに対する警戒感の高まりなど、海外経済の影響等により先行きは不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く環境につきましては、建設投資は横ばいの状況ですが、企業収益の改善から民間設備投資は持ち直してきております。

このような環境下、当社グループでは売上拡大と高収益維持のため、昨年度期首に策定した「2016中期経営計画」(2016年度～2018年度)に掲げる次の個別戦略項目を、引き続き鋭意推進しております。

- ・海外事業の拡大
- ・ONE & ONLY技術の確立
- ・新成長市場、低シェア市場、新規顧客の確実な攻略
- ・ストック、ビジネスへの注力
- ・経営効率の向上

当第1四半期連結累計期間の受注は、ボーリング機器関連では機械本体を中心に受注を確保し、工事施工関連でも主にトンネル先進調査工事やアンカー工事の受注が伸びたため、前年同四半期を上回ることができました。売上につきましては、ボーリング機器関連、工事施工関連ともに計画どおりの出荷売上、完工が進んでおりますが、前年同四半期と比べると減少する結果となりました。

以上の結果、連結受注高は、2,143百万円(前年同四半期増減率9.2%)、連結売上高は、1,606百万円(同△13.3%)となりました。利益面におきましては、売上高が減少したことと一部原価高の案件が発生したことにより、営業損失は△70百万円(前年同四半期は、75百万円の営業利益)、経常損失は△72百万円(同70百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は△72百万円(同48百万円の四半期純利益)となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結累計期間(A) 自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	前第1四半期 連結累計期間(B) 自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	2,143	1,962	180	9.2%
売上高	1,606	1,852	△245	△13.3%
営業利益又は営業損失 (△)	△70	75	△146	—
経常利益又は経常損失 (△)	△72	70	△143	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半 期純損失(△)	△72	48	△120	—

(百万円未満は切り捨てて表示しております。)

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ボーリング機器関連

当セグメントにおきましては、ボーリングマシン本体及びその関連機械と海外ODA水井戸機械関係で受注を確保したことにより、国内、海外ともに増加し、受注高は前年同四半期を上回りました。売上高は、特注機や関連機械のバッチャープラントなどの機械本体の出荷は進みましたが、主力のロータリー・パーカッションドリルが伸びず、前年同四半期と比べると減少いたしました。利益面では売上高の減少と一部大型案件の原価高が発生したことによりセグメント損失（営業損失）となりました。

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結累計期間(A) 自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	前第1四半期 連結累計期間(B) 自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	1,192	1,041	150	14.5%
売上高	857	1,182	△325	△27.5%
セグメント利益又は損失(△)	△63	98	△161	—

(百万円未満は切り捨てて表示しております。)

② 工事施工関連

当セグメントにおきましては、受注については海外工事案件の受注はなかったものの、トンネル先進調査工事や特殊井戸掘削工事及びアンカー工事の受注が伸びたことにより、受注高は前年同四半期を上回りました。売上高につきましても、トンネル先進調査工事、温泉工事やアンカー工事を中心に完工したことにより前年同四半期を上回りました。利益につきましても、完工高は増加いたしましたが、比較的収益性の高い当社直営の工事の売上高構成が少なくなったことなどにより、少額のセグメント損失（営業損失）に留まりました。

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結累計期間(A) 自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	前第1四半期 連結累計期間(B) 自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	951	921	30	3.3%
売上高	749	669	79	11.9%
セグメント損失(△)	△7	△23	15	△68.4%

(百万円未満は切り捨てて表示しております。)

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して76百万円減少し、7,399百万円となりました。

流動資産は、仕掛品が85百万円増加しましたが、現金及び預金が66百万円、完成工事未収入金が55百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して62百万円減少し、5,603百万円となりました。

固定資産は、建物、工具器具及び備品などで7百万円の設備投資を行いました、25百万円の減価償却の実施により、前連結会計年度末と比較して13百万円減少し、1,795百万円となりました。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して83百万円増加し、3,988百万円となりました。

流動負債は、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が38百万円、工事未払金が26百万円増加しましたが、賞与引当金が79百万円、未払法人税等が21百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して9百万円減少し、2,864百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して92百万円増加し、1,124百万円となりました。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失72百万円等を計上したことから、3,410百万円となり、自己資本比率は46.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年4月26日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	727,541	661,224
受取手形及び売掛金	1,266,793	1,251,945
完成工事未収入金	503,239	447,543
電子記録債権	362,546	333,509
商品及び製品	1,330,223	1,329,186
仕掛品	547,696	633,107
未成工事支出金	183,552	168,924
原材料及び貯蔵品	509,482	522,427
繰延税金資産	155,753	162,473
その他	80,650	93,193
貸倒引当金	△1,300	—
流動資産合計	5,666,180	5,603,536
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,079,566	1,079,566
その他(純額)	443,477	427,592
有形固定資産合計	1,523,043	1,507,158
無形固定資産	29,609	27,293
投資その他の資産		
繰延税金資産	157,904	161,295
その他	136,817	138,078
貸倒引当金	△37,923	△37,863
投資その他の資産合計	256,797	261,511
固定資産合計	1,809,450	1,795,963
資産合計	7,475,631	7,399,499

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,415,698	1,418,863
工事未払金	106,920	133,472
短期借入金	582,000	590,000
1年内返済予定の長期借入金	200,324	230,612
未成工事受入金	22,908	20,973
未払法人税等	36,529	14,748
賞与引当金	170,514	91,485
その他	338,869	364,156
流動負債合計	2,873,764	2,864,311
固定負債		
長期借入金	246,825	332,435
役員退職慰労引当金	86,774	87,092
退職給付に係る負債	508,610	520,723
資産除去債務	11,684	11,720
環境対策引当金	4,000	4,000
その他	174,147	168,650
固定負債合計	1,032,041	1,124,621
負債合計	3,905,806	3,988,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
資本剰余金	5	5
利益剰余金	2,261,883	2,100,118
自己株式	△1,556	△1,556
株主資本合計	3,425,748	3,263,983
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	187,108	187,108
退職給付に係る調整累計額	△48,216	△46,573
その他の包括利益累計額合計	138,891	140,535
非支配株主持分	5,185	6,047
純資産合計	3,569,824	3,410,566
負債純資産合計	7,475,631	7,399,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,852,776	1,606,806
売上原価	1,405,623	1,295,757
売上総利益	447,153	311,049
販売費及び一般管理費	371,639	381,780
営業利益又は営業損失(△)	75,513	△70,731
営業外収益		
受取利息	10	27
為替差益	—	80
受取保険金	760	—
貸倒引当金戻入額	24	1,300
その他	1,092	1,399
営業外収益合計	1,888	2,807
営業外費用		
支払利息	5,595	4,190
支払手数料	113	—
為替差損	751	—
その他	80	658
営業外費用合計	6,542	4,849
経常利益又は経常損失(△)	70,859	△72,773
特別利益		
固定資産売却益	761	—
特別利益合計	761	—
特別損失		
固定資産売却損	—	32
固定資産除却損	228	7
特別損失合計	228	39
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	71,393	△72,813
法人税、住民税及び事業税	6,788	9,258
法人税等調整額	15,387	△10,836
法人税等合計	22,176	△1,577
四半期純利益又は四半期純損失(△)	49,216	△71,235
非支配株主に帰属する四半期純利益	891	862
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	48,325	△72,098

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	49,216	△71,235
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	1,676	1,643
その他の包括利益合計	1,676	1,643
四半期包括利益	50,892	△69,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,001	△70,454
非支配株主に係る四半期包括利益	891	862

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	1,182,916	669,859	1,852,776	—	1,852,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,229	—	7,229	△7,229	—
計	1,190,145	669,859	1,860,005	△7,229	1,852,776
セグメント利益又は損失 (△)	98,207	△23,253	74,953	559	75,513

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額559千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失(△)の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	857,519	749,286	1,606,806	—	1,606,806
セグメント間の内部売上高 又は振替高	269	—	269	△269	—
計	857,788	749,286	1,607,075	△269	1,606,806
セグメント損失(△)	△63,452	△7,339	△70,791	60	△70,731

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額60千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。